

アストロバイオロジー研究の現状と将来

Present status of study on astrobiology in Japan and the world

松井 孝典[1]

Takafumi Matsui[1]

[1] 東大・院・新領域

[1] Grad. Sch. of Frontier Sci., Univ. of Tokyo

21世紀の科学として、米航空宇宙局（NASA）が、旧来の天文学、惑星科学、地球科学、生命科学を統合するアストロバイオロジーを提唱し、その名を冠したバーチャルな研究所をNASA エームス研究所に設置し、既に4年以上が経過している。NASA の呼びかけに応じて、ヨーロッパ各国、オーストラリアにもこの名を冠した研究所が設置され、この分野の研究は世界的広がりを見せている。このような情勢の中で、関連研究者の多いわが国で、いかにこの分野を振興させるか、内外から注目が集まっている。本講演では、その研究の現状と、推進体制に関する試み、世界の現状についてレビューする。